

世界遺産アカデミー認定講師 File No.6

このコーナーでは、マイスターの称号を得て全国で積極的に啓もう活動をされている世界遺産アカデミー認定講師の方に毎回スポットを当て、お話を伺います。第6回は関西地区でご活躍されている辻有美子(つじ・ゆみこ)さんです。

——世界遺産への関わりは 自己研鑽となります

客室乗務員として勤めていた頃、世界各国の観光地や世界遺産物件をよく訪れてはいましたが、当時はその素晴らしさを体系的に理解せずにいました。得た情報や自身の体験等を、言うならば点を線に、線を面に、と学術的に捉えてみたいと思っていたところに、第1回の世界遺産検定の存在を知り、挑戦しました。世界史が好きでしたし、仕事柄、世界地図は頭に入っていたので歴史・地理的なことは問題なかったのですが、テーマ別に軸を絞って学ぶのが大変でした。現在ほどガイド本はなく、自分で何冊もノートを作り、地域別、カテゴリー別に分け、とにかく書き込みました。国連やユネスコをはじめ海

外の公的機関のサイトにもアクセスし、映像資料を頭に叩き込み、日本人には馴染みのない小国の情報等も収集しました。現在とは呼称が違いますが、シルバー認定を取得後、ガイダンス・ナビゲーターという形で講師を始めました。世界遺産の魅力と価値を伝える活動は、とても有意義で自己研鑽になります。

これまでに、検定試験のガイダンスに加え、観光学部がある大学や、国際情勢の授業の一環として世界遺産を取り上げているゼミ等で講義する機会がありました。ガイダンスは、聴講者の層や反応を見て臨機応変に進めていきます。関西には登録物件も多く、地元の方や博識な方も参加されるので毎回緊張しますが、自分の経験や小話を交えて、親しみやす

い雰囲気を感じています。学生には「就活に直結します。絶対皆で合格しましょう！」とモチベーションが上がるように、また、話題の映画や音楽、漫画等と絡めて興味を引くようにします。一昨年とある大学で毎週連続4回のガイダンスを行いました。翌年も同じように一カ月間担当しましたが、前年度参加の学生が「私いま、就活、頑張ってるよ」とわざわざ顔を出しに来てくれ、後輩にあたる学生達に「世界遺産は役に立つから頑張って」と励ましてくれたのです。慣れない用語や堅苦しさで勉強が嫌になってしまうことは誰にでもあると思いますが、そうした時は、勉強の切り口を変えてみることも有効です。

——世界記憶遺産登録は 日本文化への再考察

『武家の古都・鎌倉』及び『富士山』の推薦書が提出され、今夏にはICOMOSによる現地調査もあるので、その動向から目が離せません。無形文化遺産にも注目すべきとの声も多く、「和食」をはじめ、伝統工芸品、茶道や禅といった日本文化を象徴するものが世界に広く知られることへの期待感があります。2012年は世界遺産条約40周年に加え、世界記憶遺産事業20周年です。昨年は炭鉱記録画家・山本作兵衛氏の絵画や日記等が日本初の世界記憶遺産として登録されました。デジタル化による歴史的な文書保存というテクノロジーは、人類共通の宝を、

より身近なものにします。浮世絵や源氏物語等は既にユネスコと米国議会図書館等が共同開発しているワールドデジタルライブラリーで容易に閲覧でき、全世界からのアプローチが可能です。記憶遺産への登録は、日本文化の豊かさを世界に発信する更なる機会となり、日本人としてのアイデンティティや歴史の深みを再考察するきっかけとなるでしょう。

南太平洋上、フランス海外島の島「ニューカレドニアのラグーン・環境の多様性と関連する生態系」に注目しています。2008年春、世界遺産登録の直前に訪れたパカンスの際、その豊かな自然、美しい珊瑚礁に目を見張りましたが、開発・経済活動と環境保護のバランスという点でも非常に興味深いで

す。折しも2012年はニューカレドニア日本人移民120周年の年。島の主産業であるニッケル採鉱は、かつての日本人が支え経済の安定をもたらしましたが、生態系、先住民の伝統・文化を破壊し、環境保護問題も多いことは、現代文明の恩恵を受ける者として深く考えさせられます。世界中で資源の奪い合いが起きている昨年、フクシマの問題を抱えている日本人としては、資源・エネルギー問題、CSRや地球規模の社会的責任、サステナビリティに高い関心を持ちます。世界遺産登録で、保全の必要性和資源開発の重要性がバランスよく尊重されることを期待します。

——世界遺産の価値を未来に 伝えていくために

人類共通の宝物を保全し守り伝えていくことは私達の大きな使命なので、未来に価値を遺すために、次世代を担う子ども達とも直接関わりながら、その魅力を伝えていきたいと思っています。ユネスコスクールの提言する持続発展教育(ESD)のテーマのように、実際、私自身も娘を1歳の時から海外に連れ出して世界遺産を巡り、紀行番組を観ては半ば強制的に教えています！多文化理解や地球環境保護に興味のある「ママ友」も多いですし、通訳や国際

交流ボランティアを通じて若者とコミュニケーションを取ることも多いです。身近な所から世界遺産の啓発に繋がってほしいです。

世界遺産自体の学習も飽きることはありませんし、独自の論点で世界遺産を語る認定講師の活動は本当に面白いです。私の場合は子育てやボランティア等との合間での活動ですが、異なる価値観や独特の世界観を持つ人たちとの出会いで、いっそう視野が広がりました。坂の上にはやはり坂、習うは一生です！楽しく熱く語れる方、お待ちしております！



映画やフインのネタは欠かさないという辻さん